

○平成24年10月10日 総括質疑

1. 人口構成に応じた住宅施策について

(北山議員)

この度の代表質疑、局別審査を通じて、人口減少社会の到来など、差し迫る社会構造の変革と近年顕在化してきた社会問題など、本市が抱える多様な行政課題について、質疑をしてきた。しかし、時代を先取りしてきた進取の気鋭という神戸市役所の気概が薄れ、変革の波に埋没してしまわないかと非常に懸念をしている。時代の兆候を見極め、人も財も集中的に投下するという姿勢で神戸市の舵取りをしていただきたいと考えている。

さらに、例えば市営住宅マネジメント計画1つとっても、時代の流れにそぐわない計画だと感じざるを得ない。官から民へという行財政改革の指針に相反するこの計画は、市営住宅のセーフティネットとしての役割を差し引いても、なお納得のできるものではない。

また、市営住宅の建替え住宅としてJR新長田駅南に新たな建設を予定している。しかし、この場所は本来地元住民に民間住宅を約束していた場所であり、長田の顔であるこの一等地に何故市営住宅を移転させるのか、その理由は釈然としない。

どうしても民間分譲をせず、市営住宅として建設するのであれば、長田の人口10万人、回復のための起爆剤とするなど、より大きな視点での活用とすべきではないか。

同じ神戸市内でも区の実情によって進めるべき住宅施策は異なってくる。地域の自主性を高める一括法の施行によって地方自治体の裁量で市営住宅の入居基準の緩和をすることが可能となった。人口が増加し、子育て所帯が多く入居する中央区以東の地域と、高齢化が進む兵庫区や長田区では取るべき施策が自ずと変わってくるはずである。

何の手立ても打たず、現状のまま放置すれば兵庫や長田のまちはオールドタウンではなく、限界集落と化してしまうのではないか。

高齢者が過半数を占める限界集落では、集落の自治機能が低下し、急速な衰退を迎えてしまう。東京都新宿区などの都心部ですら、このような限界集落は存在するとの報告もある。

やはり、まちはバランス良く住み替えをしてこそ、その活力は維持される。

そこで何うが、例えば、50%を目標に市営住宅の一部を若年夫婦所帯や子育て世帯専用の住居とし、各区の人口構成によって、その入居枠に差を設けるなど、人口構成に応じた住宅施策こそ、人口減少社会の本格化に向けて、まちの活力維持のために必要な施策だと考えるが、見解を伺う。

(矢田市長)

高齢化率の問題から申し上げる。長田区は29.5%という状況であり、全市の中で一番高い率である。全市の高齢率は23.3%なので、言われている点についてその内容が、この意味を含んでいるのではないかと思う。そして、中央市街地の5区で見るとかなり高齢化率が高い状態である。その中で市営住宅の場合、多様な世帯構成によるコミュニティの形成があると認識している。震災で災害公営

住宅にした結果、HAT神戸などは非常に高齢化率が上がっているという状況である。そういう中で、今後市営住宅における若年・子育て世帯に配慮した住宅施策として、高齢化率の高いと思われる住宅での若年・子育て世帯向け住宅や、入退去のサイクルを早めていく子育て世帯向期限付き入居住宅などの特定目的住宅枠を設けているわけだが、これを一般住宅の抽選においても倍率優遇をするというのがある。平成23年度から新たに導入したポイント方式だが、こういった点で当選者に占める若年・子育て世帯の割合は、申込者に占める割合の2倍程度となっている。今後、地域自主性1次一括法による公営住宅法の改正があり、そういう中で市営住宅における子育て世帯の対象要件を「小学校入学前」から「中学校修了前」に改めるという点もある。また、入居収入基準を国が定める上限いっぱいまで緩和する条例改正を行い、平成25年4月から施行する予定である。これらのような対策をとっているが、低所得の高齢者世帯が増加しているのも事実である。高齢者の住まいの確保にも一定配慮していく必要がある。その中で、若年・子育て世帯向けの住戸を、一律に市営住宅の50%を目標にすることは現状少し難しいのではないかと思う。いずれにしても、バランスのとれた人口構成がまちの活力維持という点で大変重要なので、そういう点に配慮しながら、引き続き、若年・子育て世帯の入居促進を図っていけるような手立てを講じていきたい。

(北山議員)

今、市長が若年者に配慮した市営住宅のあり方についての方針を聞かせていただいた。私はその方針でやってもらいたい。長田や兵庫区というところがいかに高齢化率が高いかというのは市長の説明にもあったとおりである。区ごとに配慮した施策をするべきだと思っている。

ただ、先ほど申し上げたように、新長田南部に市営住宅を持っていこうとしている件だが、これは第一に当初ここに住んでいた権利者に退いていただいて、新たに地域全体で分譲マンションを作り出すと言って、半分拵えて、後の半分はなかなか出ない業者もいたので時間がかかったが、分譲住宅を作ってもらえるものだと思っていたら市営住宅を持ってくるということになっていた。

これは地元住民から見れば市役所の約束違反である。この約束違反をそのまま押し付けてもらっては地元住民は納得できない。そういう意味で私は市長の決断を仰ぎたいと思うがいかがか。

(矢田市長)

今回の今の話しの新長田南再開発に伴う件だが、これについては、現状の中で市営住宅の適地というのがなかなか確保しにくい、特に中央3区が難しい状況なので、そういう点で非常に無理を申し上げているわけだが、その中でやらせていただく限りは、できるだけうまくコミュニティが出来るような、若年や子育て世帯が入っていけるような方向で検討させていただきたいと考えている。

(北山議員)

そのことについて地元住民は、そういう思いは持っているが、自分の分譲マンションの前が市営住

宅になってしまうということに納得はなかなかしないと思っている。今後もこのことについて続けて
いきたいと思うので、よろしく願います。